

平成29年度久良岐能舞台

能楽教室(謡・仕舞・囃子)のご案内



横浜市能楽堂 久良岐能舞台

横浜市磯子区岡村8-21-7

電話 045(761)3854

久良岐能舞台の能楽教室ご案内

久良岐能舞台の能楽教室は、日本で唯一の通年型能楽講座です。

能の謡や仕舞の講座は、全国各地でたくさん開催されています。しかしその殆どは10回以内、期間にして3ヶ月位で終わるものが大部分です。

久良岐能舞台では、謡や仕舞、囃子の楽器を習いたい方々が、魅力を感じ、能楽を一生の友として続けて頂くために、一年を通じて教室を開催しています。

次の能界を担う若手・中堅能楽師が丁寧に教え、また生きた能楽の世界に導いてくれます。

謡・仕舞教室の年間スケジュール

初級1年目	前期 7月～10月	後期 11月～3月
初級2年目	前期 4月～10月	後期 11月～3月
中級	通年 4月～3月	

久良岐まつり研鑽会(発表会)

29年度囃子教室のスケジュール

囃子	6月～10月	11月以後未定
----	--------	---------

謡や仕舞、囃子のどれでも、教室を終了(卒業)された後は、これまでの先生について引き続きより高いレベルをめざしてお稽古を続けることができます。

そして毎年、大勢のお客様がいらっしゃる久良岐まつりで発表をすることができます。

ご自分の生涯の友、趣味として謡や仕舞、囃子を続ける・・・。

そして何かの集まりやお祝いの席で披露する。

かっこ良いとは思いませんか。

さあ、貴方の人生に新たなページ、「能のある暮らし」を始めませんか。

教室の種類と費用、申込み、支払方法などについて

《教室の種類と日程》

■ 謡・仕舞

流儀	講座名	講師氏名	前期日程等
喜多流	喜多流謡教室 喜多流仕舞教室	内田成信 <small>うちだしげのぶ</small>	7月 6日、13日、20日 8月 10日、17日、24日 9月 7日、14日、28日 10月 5日、12日、19日 補講 未定 稽古日・時刻 原則として木曜日 13:00～ 研鑽会 10月29日(日)
金春流	金春流謡教室 金春流仕舞教室	山井綱雄 <small>やまいつなのお</small> 村岡聖美 <small>むらおかみよみ</small>	7月 14日、21日、28日 8月 4日、14日、25日 9月 8日、15日、22日 10月 補講 未定 稽古日・時刻 原則として金曜日 18:00～ 研鑽会 12月9日(土)
宝生流	宝生流謡教室 宝生流仕舞教室	和久莊太郎 <small>わくづさたろう</small>	7月 6日、13日、27日 8月 10日、17日、24日 9月 7日、14日、28日 10月 5日、19日、26日 補講 未定 稽古日・時刻 原則として木曜日 17:00～ 研鑽会 10月29日(日)
共通事項	10月の研鑽会(発表会)は、受講生全員参加が原則です。		

- ※1 日程・時刻は都合により変更になる場合があります。その場合は事前にお知らせします。
- ※2 稽古日程のうち、原則として開催される曜日に出来ない場合があります、その場合は他の曜日になっていますのでご注意ください。
- ※3 受講生には稽古日カレンダーを配布しますので、ご自身が参加される日程をご確認ください。
- ※4 能舞台は白足袋を履かないと上がることができません。仕舞受講の方は毎回のお稽古に必ず白足袋をご持参ください。
(白足袋は久良岐能舞台でもお買い求め頂けます。)
- ※5 お稽古に関することなら、どのようなことでも講師や久良岐能舞台職員にご相談下さい。

■ 囃子

講座名	講座概要	講師氏名	日程
囃子入門教室	3人の講師が 担当します。	くまもとしゅんたろう 熊本俊太郎(笛)	7/1 前、7/15 後、8/5 前、9/9 後、9/23 前 10/7 後、10/28 前
		もり たかし 森 貴史(小鼓)	6/24 後、7/8 前、9/2 前、9/16 前、9/23 後 10/7 前、10/28 後
		おおくら えいたろう 大倉 栄太郎(大鼓)	6/24 前、7/8 後、8/5 後、8/19 前、9/9 前 9/30 後、10/14 前

- ※1 日程・時刻は都合により変更になる場合があります。その場合は事前にお知らせします。
- ※2 受講生には稽古日カレンダーを配布しますので、ご自身が参加される日程をご確認ください。
- ※3 能舞台は白足袋を履かないと上がることができません。仕舞受講の方は毎回の稽古に必ず白足袋をご持参ください。
(白足袋は久良岐能舞台でもお買い求め頂けます。)
- ※4 お稽古に関する事なら、どのようなことでも講師や久良岐能舞台職員にご相談下さい。
- ※5 教室運営の都合上、各楽器の最小実施人数は5名です。5名に満たない楽器は教室として開講しません。その場合、ご希望により講師をご紹介します。

《受講料》

講座名	受講料	支払方法等
喜多流謡教室 金春流謡教室 宝生流謡教室 喜多流仕舞教室 金春流仕舞教室 宝生流仕舞教室	初級 1 回 2,700 円、 中級 1 回 3,100 円 初級 1 ヶ月 (3 回) 8,100 円 中級 1 ヶ月 (3 回) 9,300 円 *他にテキストとして、各流の謡本をご購入 頂きます。	毎月最初の受講時に 1 ヶ 月分の前納をお願いします。 欠席分は翌月に繰り越し となります。 受講証に領収印を押印し ます。
囃子入門教室	1 回 3,100 円	毎回、受講料をお支払い 下さい。受講証に領収印 を押印します。

《注意》

- *1 講座出席の際は必ず“受講証”をご持参下さい。
- *2 受講料は受講証を添えて、毎月最初の回に1ヶ月分を前納して下さい。(囃子は毎回)
- *3 受講証は他人に貸与又は譲渡できません。
- *4 受講証を紛失された場合は再発行を受けて下さい。
- *5 欠席される場合は必ず事務所までご連絡下さい。
- *6 納めた受講料は原則としてお返しできません。
- *7 講師の都合により日程が変更になる場合があります。
- *8 受講料をお納め頂いた後に欠席された場合、同一年度内でしたら、残金を次の講座の受講料としてスライドさせる事ができますが、年度を跨ぐ場合はスライドできなくなりますので、ご注意願います。
- *9 稽古、発表会等の様子を記録及び広報資料として撮影(写真、動画)する場合がございますので、予めご了承願います。(問題のある場合は撮影スタッフにご相談願います。)

《講師紹介》

担当講座	氏名	プロフィール等
喜多流謡教室 喜多流仕舞教室	うちだしげのぶ 内田成信	シテ方喜多流能楽師 喜多流職分、條風会同人 公益社団法人能楽協会会員、 重要無形文化財保持者(総合認定)、特例社団法人日本能楽会会員、 成信会主宰、終会主宰、青葉乃会主宰 1968年 鎌倉市出身。 喜多実、塩津哲生に師事 4歳で初舞台「老松」、以来、「花月」「猩々乱」「道成寺」「石橋」「翁」を抜く。 アメリカ、フランス、ドイツ、ベトナム、香港などの海外公演にも参加。
金春流謡教室 金春流仕舞教室	やまいつな お 山井綱雄	シテ方金春流能楽師 社団法人金春円満井会常務理事、公益社団法人能楽協会会員 金春流若手能楽師の会「座・SQUARE」同人、山井綱雄の会主宰、綱雄会主宰。 1973年 横浜市出身。磯子区岡村在住。 金春流 79世宗家 故金春信高、80世宗家 金春安明、富山禮子に師事。 5歳で初舞台、以来、「乱」「石橋」「道成寺」「翁」「正尊」「安宅」等の秘曲を抜く。 平成26年4月金春流カナダ能公演の団長を勤める。平成26年度文化庁文化交流使として、パリ、ニューヨーク、ロサンゼルス、ポートランド、ヴィクトリア、バンクーバーを歴訪し能楽普及と現地芸術家との交流に努める。
金春流謡教室 金春流仕舞教室	むらおかきよみ 村岡聖美	シテ方金春流能楽師 群馬県前橋市出身 80世宗家金春安明、山井綱雄に師事 國學院大學文学部日本文学科卒 公益社団法人能楽協会会員 大学在学中に能と出会い、卒業後本格的に能楽師の道を目指す。 平成14年 入門 平成17年 能「羽衣」にて初シテ 平成23年 能楽協会入会
宝生流謡教室 宝生流仕舞教室	わくそうたろう 和久莊太郎	シテ方宝生流能楽師 公益社団法人宝生会正会員 公益社団法人能楽協会正会員 名古屋宝生会同人 涌宝会(同門会)主宰 和久莊太郎 演能空間(個人演能会)主宰 1974年横浜市生まれ、名古屋市出身。 東京藝術大学音楽学部邦楽科卒 宝生英雄 18世宗家・宝生英照 19世宗家に師事 「石橋」「道成寺」「乱」を抜く。 アルゼンチン・中国・エジプトなどの海外公演参加。

<p>囃子入門教室 笛</p>	<p><small>くまもとしゅんたろう</small> 熊本俊太郎</p>	<p>笛方森田流。 十世寺井久八郎に師事。 公益社団法人能楽協会会員 一般社団法人東京囃子科協議会会員</p>
<p>囃子入門教室 小鼓</p>	<p><small>もり たかし</small> 森 貴史</p>	<p>小鼓方幸流。 故住駒昭弘、亀井俊一に師事。 公益社団法人能楽協会会員 一般社団法人東京囃子科協議会会員</p>
<p>囃子入門教室 大鼓</p>	<p><small>おおくらえいたろう</small> 大倉栄太郎</p>	<p>大鼓方大倉流。 高安流大鼓方宗家預かり安福建夫(人間国宝)、父・大倉三忠に師事。 公益社団法人能楽協会会員 一般社団法人東京囃子科協議会会員</p>

《能楽講座受講者証》

表

裏

能楽講座受講者証	
講座名	<input type="text"/>
お名前	<input type="text"/>
ご注意	
<ul style="list-style-type: none">・講座出席の際は必ず本証を持参して下さい。・受講料は本証を添えて毎月前納して下さい。・受講証は他人に貸与又は譲渡できません。・受講証を紛失された場合は再発行を受けて下さい。・欠席の場合は必ず受付にご連絡下さい。・納めた受講料は原則としてお返しできません。・講師の都合により日程が変更になる場合があります。	
横浜市能楽堂久良岐能舞台 横浜市磯子区岡村 8-21-7 045(761)3854	

受講料領収欄			
1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	16
17	18	19	20

喜多流 謡・仕舞教室

講師:シテ方喜多流能楽師 内田成信

「楽しみながらお稽古を進める」・・・これが私の講座のコンセプトです。

お稽古の合間合間にお話を交え、能についての知識も一緒に学べるように致します。全くの初心者の方も大歓迎です。私自身も楽しみながら講座を進めて行きたいと思っています。気楽なお気持ちでご参加ください。

勿論、お稽古の録音録画も OK です。

謡の講座では、正しい姿勢を保ち、無理なくお腹から声を出すための呼吸法の大切さなどもお教え致しますので、声が出にくい方でも十分に楽しんでいただけます。また、仕舞は能の舞の一部を扇一本を使って舞うものです。しっかりとした構えとキッチリした型で舞うものですから、姿勢も美しくなると思います。そして講座最後の発表会に向けて、私が責任をもってサポートしてまいります。

喜多流について・・・ 能楽は室町時代に將軍足利義満の庇護を受け、観阿弥・世阿弥親子によって大成された舞台芸術です。桃山時代には能を愛好した秀吉が庇護しました。喜多流は江戸時代初期に、それまであった四流派(観世・金春・金剛・宝生)に加えて流派樹立を許された新興流派です。將軍徳川秀忠の強い後援を受け、一流創設が認められました。喜多流の特徴は型は簡素、雄大で力強く直線的、謡も質実剛健といわれています。

【講座内容】 初級

謡のお稽古 お稽古始め「高砂や〜」、その他もう一番を予定しています。
そして「高砂」の後半、「千秋楽」。
発表会に向けて謡を仕上げて行きます。
必要に応じて補講を行います。
久良岐まつりにて、発表会(10/29 日曜日)

仕舞のお稽古 第1回 お稽古始め、摺り足と構え。とにかく舞台上で動いてみましょう。
第2回〜 仕舞は慣れが必要です。3分程の仕舞を発表会に向けてお稽古して行きましょう。
第11回 久良岐まつりにて発表会(10/29 日曜日)

中級では実力に応じた内容でお稽古をします。

※皆さんのお稽古の状況を見ながら進めて行きますので、内容、スケジュールは多少変更になることがあります。

金春流 謡・仕舞教室

講師:シテ方金春流能楽師 山井綱雄
村岡聖美

「能の楽しさお伝えします！」能の基本・仕舞(舞踊)、謡(声楽)を金春流能楽師 山井綱雄と村岡聖美が初歩から分かり易く指導。能の歴史やその素晴らしさ、能の見方も折に触れてお話しします。この講座のモットーは「能を愉しむ」こと。能楽について全くの初心者の方でも、講師が責任をもってご指導いたしますので、安心してお稽古を始めることができます。

能の仕舞と謡は、昔は將軍・大名といったこの国を統治する人々に愛され、明治以降は特権階級のたしなみでした。ですから、趣味・習い事としては最高のものとされています。ですが、現在では茶道や華道のようにどなたでも親しむことが可能です。今回は、結婚式でもおなじみの「高砂」そして、能の可憐な春の名曲「胡蝶」をお稽古します。

日本文化の最高峰に位置する能、中でも能楽最古の歴史と伝統を誇る古式ゆかしい金春流の能の神髄に楽しく触れてみませんか？

金春流について・・・ 能楽五流派の中で最も古い家柄と格式を堅持する。現宗家金春安明は、第80世を数え、初代は聖徳太子の後見人・秦河勝。奈良の興福寺や春日大社の神事法事に奈良時代より現在まで奉仕。豊臣秀吉に愛好され隆盛を誇った。江戸時代には演能演目を増やす傾向に追随せず、古式を守った。金春流の活動は現在は東京が中心だが、室町時代以前から関りの深い地である奈良にも勢力を保っている。芸風は、「雄大にして素朴」。室町以来の古風を残すのびのびとした雄渾な型、拍子にこだわらぬ自在で闊達な謡を特徴とする。

【講座内容】 初級

謡のお稽古 第1回 お稽古始め、謡とは、高砂の謡を謡ってみましょう。
第2回～3回 謡「高砂」
第4回～12回 謡「胡蝶」
第13回～15回 発表会に向けて
第16回 久良岐能舞台にて発表会(12/9 土曜日)

仕舞のお稽古 第1回 お稽古始め、仕舞とは、構え・摺り足をしてみましょう。
第2回～3回 仕舞「高砂」を少しずつ
第4回～12回 仕舞「高砂」に磨きをかけて(もし余力のある方は別の曲にもチャレンジ!!)
第13回～15回 発表会に向けて
第16回 久良岐能舞台にて発表会(12/9 土曜日)

中級では受講生の実力に応じた内容でお稽古をします。

※皆さんのお稽古の状況を見ながら進めて行きますので、内容、スケジュールは多少変更になることがあります。

宝生流 謡・仕舞教室

講師:シテ方宝生流能楽師 和久莊太郎

「能」の楽しみ方は、人によって千差万別。声を出して謡うのが好きな人、身体を動かして舞うのが好きな人、静かに舞台を観るのが好きな人。

静かに舞台を観るのが好きな人でも、実際に声を出して能の流麗な文章に触れてみると、さらに理解が深まり楽しみが増します。そして、実際に身体を動かして舞えば、ものすごいエネルギーを内に秘めた能の動きの秘密が見えてくることでしょう。

謡も舞も、深呼吸を大事にしますので、気の流りが良くなり、心身ともに磨きがかかります。

みんなで謡えば怖くない！新しい世界に触れてみませんか？さあ、今日からあなたも、能マスター！

宝生流について・・・観阿弥の兄が流祖。現在、東京・金沢・名古屋・大阪・九州など主要都市や全国の城下町などに広く流布しているが、どこに行っても芸系が一つにまとまっていて、分派していない大きな流派。関東では、宝生能楽堂(水道橋)を本拠地として、毎週のように定期演能会が催されている。芸風は、古くから「謡宝生」と言われるように、気合と力のこもった謡に定評があり、「ここぞ」というときに「カングリ」という高音の独特の節回しがある。舞は、他流に比べると動きが小さいが、ものすごいエネルギーを内在させ、少しの動きで大きな効果を出すための伝承があり、誠に奥が深く、興味は尽きない。

【講座内容】 初級

謡のお稽古 第1回～11回 『^{しやうじやう}猩々』『^{まくらじどう}枕慈童』の稽古
第12回 久良岐能舞台にて発表会(10/29 日曜日)

謡のお稽古は、団体稽古です(1回 40分程)。中級講座の先輩方と共に、大勢で声を出しますので初めは小さな声でも大丈夫。難しい節回しも、自然と身につきます。

仕舞のお稽古 第1回 扇の持ち方、かまえ、すり足の稽古
第2回 所要時間1分の曲『^{けんじやう}絃上』に挑戦！
第3回 発表会に向けて『^{つるかめ}鶴亀』『^{くまの}熊野』『^{ゆゑ}猩々』のいずれか選択。
第4回～11回 『鶴亀』『熊野』『猩々』の稽古
第12回 久良岐能舞台にて発表会(10/29 日曜日)

仕舞のお稽古は、個人稽古です(1回 15分程)。講師が受講生の皆さんそれぞれの素質に合わせて、無理なく、楽しく稽古を進めていきます。

中級では受講生の実力に応じた内容でお稽古します。

※皆さんのお稽古の状況を見ながら進めて行きますので、内容、スケジュールは多少変更になることがあります。

囃子入門教室

能楽囃子入門教室では、能楽に使用する3つの楽器「笛・小鼓・大鼓」の基礎を学んで頂くことができます。お稽古だけでなく、能楽の囃子についてのお話もいたしますので、ご自分のお気に入りの楽器を探すのには最適な教室です。最終回の10月29日には、研鑽会と和室にての打ち上げがございます。皆様のご参加をお待ちしております。

講師

笛：熊本俊太郎（笛方森田流）
 小鼓：森 貴史（小鼓方観世流）
 大鼓：大倉栄太郎（大鼓方大倉流）

教室日程と内容

日程	17:30～18:45	19:00～20:15
6月24日(土)	大鼓①	小鼓①
7月1日(土)	笛①	
7月8日(土)	小鼓②	大鼓②
7月15日(土)		笛②
8月5日(土)	笛③	大鼓③
8月19日(土)	大鼓④	
9月2日(土)	小鼓③	
9月9日(土)	大鼓⑤	笛④
9月16日(土)	小鼓④	
9月23日(土)	笛⑤	小鼓⑤
9月30日(土)		大鼓⑥
10月7日(土)	小鼓⑥	笛⑥
10月14日(土)	大鼓⑦	
10月28日(土)	笛⑦	小鼓⑦
10月29日(日)	研鑽会(発表会)+懇親会	

※講師の都合によりスケジュールが多少変更になる場合があります。